

令和 6 年度 事業実績報告書

地域支援センター一陽

1. センター利用状況 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

166 回 2,234 名

a. 地域の子育て家庭支援

①地域の子育て支援活動団体が子育て支援活動（未就学児親子の集いの開催、あかちゃん抱っこ教室の準備 etc）を実施	8 回	99 名
②地域で福祉的援助が必要な子どもと家庭への支援に取り組む児童委員・民生委員の会議を開催	11 回	287 名
③地域の子育て支援に取り組む NPO（特定非営利活動法人 春駒サポーターズ）の役員会等を開催	6 回	23 名
④地域学習支援の実施、準備会議	5 回	35 名

地域の社会的養育拠点として、里親ショートステイや子どもの居場所づくり等、今後期待される家庭養育支援事業を試行する一年となった。

b. 里親家庭支援や家庭養護推進のための事業等のコーディネート

①越前市及び南越前町と連携して里親ショートステイ事業を実施	ショートステイ トワイライ トステイ	稼働日数 82 日 3 日
-------------------------------	--------------------------	---------------------

活動した里親実人数 6 人

c. 短期児童預かり事業（ショートステイ、レスパイトケア、一時保護委託等）

①子育て短期支援事業実績 （里親ショートステイ含む）	ショートステイ トワイライ トステイ	稼働日数 222 日 27 日
②一時保護委託	3 名	196 日

d. ケアリーバー、措置解除直前の若者、特定妊婦、要支援親子を対象としたショートステイやシェルター機能の提供、自立生活訓練の実施

①ケアリーバーの集いを開催、アドボカシー協議会の会議開催や福井県内のケアリーバー団体会議を開催。	11 回	160 名
--	------	-------

集いは、おおよそ毎月1回日曜日にカレーを参加者が作り、食事会を実施。ケアリーバーや措置解除直前の青年らの情報交換、悩みを相談し合える場となり、定期的に集まる場となった。

センター活用個別事例として

- ・ケアリーブを控える高校生に自立生活のためのトレーニングを実施した事例
- ・被虐待（経済的）児童を一時保護し児童相談所につなげた事例
- ・家族との不和により帰宅できない高校生を、シェルター機能により相談援助を行い保護し、自立援助ホームに入所した事例。

e. 里親やケアワーカー、要対協メンバーらのカンファレンス・セミナー・交流会等の実施

①福井県内里親専門相談員会議、サロン、福井県里親会の役員会（全国里親大会福井大会準備委員会含む）開催	9 回	63 名
②福井県社会的養護施設協議会拡大施設長会、越前市要保護地域対策協議会代表者会議、地域公益活動推進協議会わくわく応援隊運営会議	3 回	71 名

f. 子ども家庭福祉支援実務者の研修会の実施

①こども家庭ソーシャルワーカー認定指定研修・追加研修、福井県統括支援員研修、福井県民間施設職員研修、CPAトレーナー養成講座等	17 回	451 名
---	------	-------

その他 地域支援センター利用

①多機能型児童家庭支援センターの視察受け入れ	36 回	118 名
②地域自治組織への会場貸出（地域の方に社会養育支援拠点として周知）	58 回	884 名
③イベント利用 100万人のクラシックライブ等	2 回	43 名